

## PLAMO 通信 20

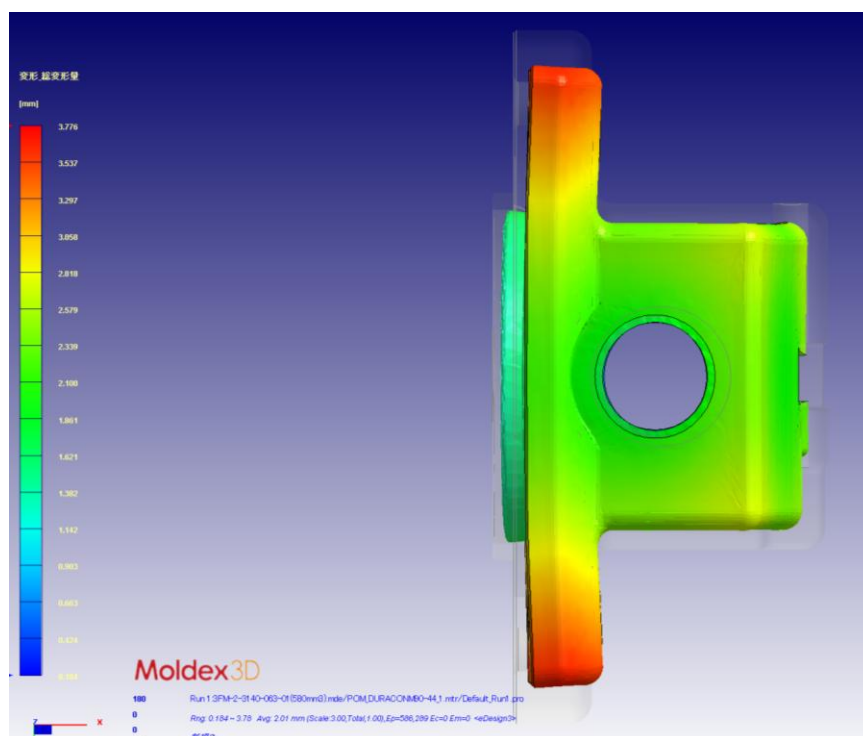
前回に引き続きシミュレーションソフトウェアについて解説致します。

御存じの通りプラスチック射出成形は製品形状が一品一様であることから都度バランスの取れた金型を作ることが求められます。同業者で多く観られるのが場当たりの対応方法です。ソリが発生して寸法が入らないので駒を再加工して対応するといった具合です。本当の原因はそこには無いのに駒に手を付け対応し、別の問題を対処すると前回の修正項目が適合しない等の泥沼化した対応策です。

このことは折角高い完成度で作った金型に対して様々な手を加えることで、完成度がみるみる低下します。当然、起型から良品として顧客より承認を得るまでの長い時間はお客様の量産スケジュールに悪影響を与え、承認までの多くのやり取りはお客様、金型製作業者に迷惑をお掛けしますし、成形業者においても担当技術者の労力を多く割かなければなりませんので、技術者の処理する金型の台数にも限界が生じてきます。

以前であれば職人的な技術者が経験により対応していた分野であります。現在の高度な要求には対応出来ないと考えますし、その様な技術者が育成できる環境にないと思います。

本ソフトウェアの本当の目的はこの分野ではないかと思えます。継続的に技術を向上させる環境と収益をしっかりと確保することが企業経営においてとても大切であると感じています。



(ソリ変形解析例)

次回より機能の詳細を説明いたします。ご期待下さい。

2020/4/27